

9月県議会 ― 始まる

9月定例県議会が21日に開会、10月11日までの会期で行なわれます。

9月補正予算は、総額29億5千万円余です。おもな内容は、生活密着型の公共事業として歩道整備・交差点改良など生活道路の維持補修をはじめ、防災の観点から護岸等河川施設の修繕や河川の堆積土・流木除去などに重点配分。健康被害で不安が広がっているアスベストについては、国基準を上回る県独自の施策を実施。また9月県議会前に党県議団が知事に申し入れた松本消費生活センター岡谷支所設置も盛り込まれました。

このほか、2月・6月議会で減額修正された信州型木製ガードレールも再提案されました。

また、阿智村に公共関与で計画されていた産業廃棄物処分場の建設中止を表明。今後の産業廃棄物処理については、廃棄物の発生抑制と優良な民間業者の育成に県として取り組む方向を示しました。

一般質問の傍聴におでかけください

9月27日 午後1時～ 毛利 栄子県議

9月30日 午後1時～ 高村 京子県議

10月3日 午後2時～ 小林 伸陽県議

県組織の再編案 ― 提案される

今回の「再編」案は全国初の「地域本部長」制を導入。従来の地方事務所の名称を地域振興事務所とするなど大幅な改正をすすめるものです。

また、長野市の県勤労者福祉センターを来年3月末廃止を含め、県下の勤福センターを市町村にゆずる指定管理者制度の導入が提案されました。